

ご挨拶

工学部だより

山口大学工学部副学部長 望月 信介（院機械61年修了）



本年4月より副学部長を拝命しております。常盤工業会の皆様には平素から格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。私は大学院（機械工学専攻）を昭和61年に修了し、現在は工学部機械工学科の伝統ある流体研究室に所属しております。常盤工業会においては山口ブロックの代議員も務めさせていただいております。工学部発展のために努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

工学教育の動向、工学部における今後の展開については、「常盤」81号で堤工学部長から詳しい説明がされていますので、今回は工学部の「オープンキャンパス」と「イノベーション道場」について紹介させていただきます。

今年やオープンキャンパスは日本中で大学を挙げての一大イベントとなっています。山口大学でも大学全体で予算を取り、4月から準備を始め、8月初旬に吉田地区、常盤地区、小串地区それぞれの地区において実施されました。中四国九州をはじめ、遠くは関東や北海道からも足を運ばれ、工学部に限っていても来場者数は1日で1,000人を超えます。開場時間になると受験生、将来の受験生、その家族、高校の指導教員等が長蛇の列をなして来学されます。貸し切りバスを用意して来られる高校もありました。大学が用意するバス

オープンキャンパス2018

今年やオープンキャンパスは日本中で大学を挙げての一大イベントとなっています。山口大学でも大学全体で予算を取り、4月から準備を始め、8月初旬に吉田地区、常盤地区、小串地区それぞれの地区において実施されました。中四国九州をはじめ、遠くは関東や北海道からも足を運ばれ、工学部に限っていても来場者数は1日で1,000人を超えます。開場時間になると受験生、将来の受験生、その家族、高校の指導教員等が長蛇の列をなして来学されます。貸し切りバスを用意して来られる高校もありました。大学が用意するバス

（新山口駅、岩国駅、徳山駅、下関駅から出発）もすぐに予約で埋まってしまいう状況でした。



オープンキャンパス受付

イベントは主として大学紹介（大学の特色、学生支援、入試情報）と各学科が研究紹介用に用意した40以上のブースからなります。大学紹介は保護者および高校教諭向けに用意するものです。また学生の協力により男子寮と女子寮の見学ツアーも行っています。学生支援関係では、常盤工業会奨学金制度について紹介していますが、保護者の関心は高いようでした。ローカルラジオ局であるFMきららの生放送が会場に置かれた特設スタジオから



FMきらら サテライトスタジオ

発信され、堤工学部長、岡学長が会場の雰囲気を与えられていました。

各学科の会場では来場者の興味を引く工夫を凝らした研究紹介が行われていました。どの企画も若い人の目線で企画されているせいか非常にユニークで、楽しいものが多くありました。アンケートに寄せられた内容からは高校生の目線で見た印象が書かれており、とても興味深いものがありました。大学受験を目指していたころの自らを思い出し、学ぶこととモノづくりの楽しさを考えるにはよい機会となりました。

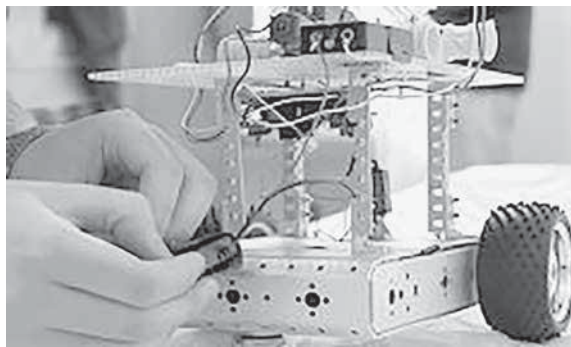
3年後に大学受験が大きく変わろうとしています。レシピの整った作業は機械が行い、人間は創造性のある仕事をしなければならないという理由からです。既に高等学校においては、その準備のための様々な指導が行われています。高校生がキャンパスを訪問し、教員や学生と触れ合うのもその一つです。受験のための情報を得たいというのが主ですが、オープンキャンパスに参加する高校生が増加する理由はそういった事情を反映したものだと思われます。学ぶことへの純粋な関心は今日でも衰えておらず、希望すれば自由に学ぶ機会が与えられていることは日本の将来には明るい材料と思います。

イノベーション道場

イノベーションという言葉には明確な定義はありませんが、『新しい価値を創造し、社会に変革をもたらすこと』とされています。大学は高い創造性と豊富な知識によりイノベーションの担い手として大きな期待がかけられています。日本全国いずれの自治体においても、廃業数が創業数を上回り、多くの企業は人口減少と雇用喪失に頭を抱えています。モノづくりの海外への流出、新機軸への転換ができずに事業継承をあきらめて廃業する中小企業が多く存在していることから、政府の後押しも非常に大きなものとなっています。イ

ノベーションと言えばアップルのステイプ・ジョブズが有名です。たかだか150gほどの機械を売るアップルの時価総額がトヨタ自動車の数倍にあたることは、この価値創造がいかに大きいかを表しています。

このようなことを背景に一昨年、山口大学に、研究者、学生、企業の研究者や経営者が集い、価値創造に向けて交流する場が設けられました。学生のアイデアを形にする3Dプリンターが導入され、アイデアを紹介し意見を交わすスタジオとして「イノベーション道場“志”」が工学部内に開設されました。学科の枠を越え、国境を越え、学生がチームを作り、アイデアを出し合い、モノづくりを実践し、評価を受けます。地元の中小企業の方も参加し、中にはそれが縁で学生が就職した事例も出ています。外部から地方自治体、製造業、銀行、行政など様々な業種の方が参加されます。このように専門、年齢、国、立場を越えて学びあい、そのエネルギーを原動力に未来に向かって歩む場を道場として提供しています。



学生の作品

オープンキャンパスとイノベーション道場という学生の教育に近い話題を紹介しました。どちらもOBと同窓会を通じた支援により支えられている部分が多々あります。未来の社会を築く若いエンジニアの育成に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。